

公共社会学科案内2022

福岡県立大学 人間社会学部 公共社会学科

今日、紛争、差別、格差、環境破壊など国内外の地域社会には課題が山積して います。地球上に住むひとりひとりが当事者としてこれらの課題に取り組むこと が求められています。

公共社会学科は、誰もがよりよい生を実現できるような社会の仕組みを考える 学科です。社会学をベースに、政治学、経済学、教育学、地理学、情報学など幅 広い領域を地域社会と国際共生に焦点をあてながら学びます。

特に力を入れているのが社会科学的な手法を用いた課題解決型授業です。社会 調査実習では、地域の課題を発掘し、課題が生じる構造を社会調査で明らかに し、解決策を提言するまでの過程を学生が主体的に担い、課題解決能力を身に付 けます。また、少人数制の授業では、教員や学生同士の対話を通して考える力や 相手を理解しわかりやすく伝える力を養います。

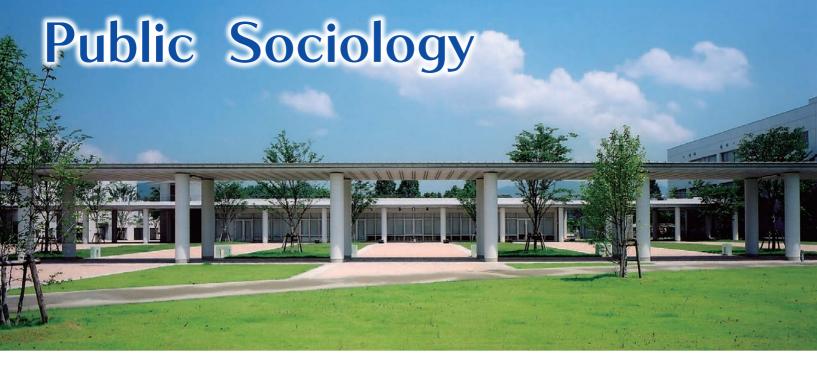
人間に対する興味・関心が旺盛な人、国内外の地域が抱えている課題や社会現 象に関心をもっている人、あなたの「なぜ?」を公共社会学科での学びを通して 社会を変える行動の一歩へとつなげてみませんか?

公共社会学科地域社会コース代表 佐野 麻由子

目 次

公共社会学科の学び]
「公共」の扉へ2
カリキュラム構成3
地域社会ネットワーク領域4
アジア国際共生領域5
ゼミ&教員紹介6
教職課程•教育実習10
社会調査実習・国際交流プログラム・交換留学 …12
キャリア支援プログラム13
活躍する卒業生15
カリキュラム・コースツリー18

PUBLIC SOCIOLOGY



●「公共」の扉へ

2022年度より高等学校公民科の新しい必修科目「公共」がスタートしました。その背景には、グローバル化や情報化により、現代社会には新たな課題がいくつも生み出され、私たちのくらしも先の見通しが立ちにくくなっていることがあります。そうした中では、私たち個々人が自立した主体として、他者と協働し、持続可能な社会づくりに参画すること——豊かな「公共」を育むことの重要性が高まっているのです。

本学科はこのような国レベルで認識されてきた問題意識を先取りし、社会学を中心に現代社会の諸課題にアプローチする様々なスキルを身につけ、自由な発想と深い他者理解をベースに、他者と協働し、より大胆に社会に働きかけられるアクターを育むことを目標にしてきました。本学科の卒業生のみなさんは、広く社会の各所で「公共人材」として活躍しています。

●公共社会学科がめざす教育

私たちが生きる現代社会では、生活条件も考え方も異なる人同士が、地域社会で、そして地球規模で、互いに支え合うことが求められています。そして現代は、知識・情報・技術が急速に更新され、それらが私たちのあらゆる活動領域において重要な意味をもつ社会でもあります。公共社会学は、このような社会背景のもと多様な個性をもつ人びとが共に生きていける、新しい公共社会のあり方を探求する学問です。

本学科では、地域社会や国際社会が抱える課題に対して、教員と学生が一緒に向き合い、協働し議論を重ねます。大学4年間の経験を通して、現代社会で活躍するにあたり役に立つ、幅広い知識と分析スキルを修得します。

●教育の特徴

〈問題意識を育み課題解決力を高める〉

本学科の教育は、学生たちが現代社会課題に対する問題意識を高め、課題解決にあたり役に立つ実証研究のスキルを身につけることを重視しています。学生たちは課題解決をめざして人びとが協働する「地域社会」「国際共生」というフィールドに参画し、多方面に渡る経験を通して課題解決力を高めます。新しい公共社会を具体的、多角的に考えられるように、「地域社会ネットワーク」「アジア国際共生」という2つの履修領域を設けています(詳細は4頁)。

〈情報化社会に対応できる基礎能力を身につける〉

現代社会課題に、社会調査・情報処理の基礎能力を活用してアプローチする力を、実習や演習を通して身につけます。本学科は2022年度より高等学校教諭一種免許状(情報)の教職課程を設置しました。社会課題に向き合う経験と併せて、卒業後の様々な場面で役立てるスキルを身につけます。

〈公共社会学科が重視する4つのポイント〉

- 1 新たな公共性、地域社会、国際共生の視点を培う。
- 2 コミュニケーション能力、リサーチ能力、ITスキルを習得する。
- 3 社会のニーズを的確に把握する調査力、分析力をつける。
- 4 問題解決への企画・提案力や調整力の基礎を培う。



※ 写真撮影時のみマスクを外しています。また一部に新型コロナウイルス感染症対応以前の写真も使用しています。



●カリキュラム構成

社会学と公共性をベースに、現代社会の諸課題を、ローカルに、 グローバルに探求するカリキュラムを用意しています。あなた自 身で学びをコーディネートできます(詳細は18頁)。

<1年次> 全学共通科目を履修するとともに、社会学、社会調査、 情報処理の基礎を学びます。

<2年次> 現代社会課題、地域社会ネットワーク、アジア国際 共生の関する科目群から、各自の関心に沿った学習を組み立てて いきます。1年次に学んだ社会調査・情報処理の能力をさらに伸 ばすとともに、社会調査実習に取り組むことを通して応用力を養 います。

【社会調査実習】 調査の企画から実施、分析、報告書の作成に至るまでを学生が主体となって行います。社会の動向が表しているものを見極める能力を身につけます(詳細は12頁)。

<3年次> より高度な専門科目を学びつつ、関心のある分野の ゼミに入り、課題を設定し、原因を考察・分析する力を磨きます。

【公共社会学研究】 本学科には、社会学だけでなく政治学、経済学、教育学、地理学、情報学など幅広い専門領域のゼミ(演習)があります。少人数(原則6人以下)で文献を読んだり、グループや個人による研究を進めたり、ディスカッションを行ったりします(詳細は6頁)。

<4年次> 自身で研究課題を設定し、**卒業論文**を執筆します。 1年次から身につけてきた知識やスキル、思考力の集大成です。 教員の指導を受けながら、疑問を見出し、実態を把握し、検証・ 考察をへて結論を導き出す、一連の論じる力を身につけます。

●資格・キャリア支援

〈キャリア支援プログラム〉

学生一人ひとりが将来の目標を定め、その実現に向け自律的に進んでいけるよう、本学科では5つのキャリア支援プログラムを設けています(詳細は13頁)。

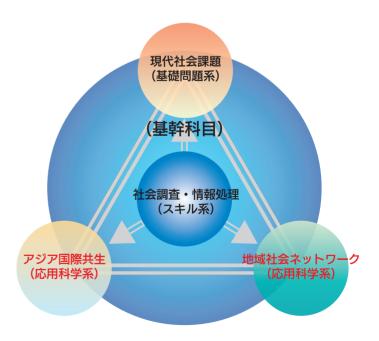
- (1) 社会調査十資格取得支援プログラム
- (2) 教職免許取得支援プログラム
- (3) 情報処理関係資格取得支援プログラム
- (4) 公務員受験支援プログラム
- (5) ビジネス・スキル修得支援プログラム

本プログラムは、大学での学びと卒業後の進路を有機的に結びつけることをねらいとしています。専門教育の各段階で、将来の進路形成について自分自身で考えられる機会を設けるように工夫しています。

ほかにも本学では、全額横断型教育プログラムによる就業力強 化支援、キャリアサポートセンターによる就職活動相談など、幅 広い進路支援を行っています。

〈取得できる資格・免許〉

- ◆ 社会調査士
- ◆ 中学校教諭一種免許(社会)
- ◆ 高等学校教諭一種免許(公民)
- ◆ 高等学校教諭一種免許(情報)
- ◆ 上級情報処理士
- ◆ 社会福祉主事任用資格



Think Globally, Act Locally!

地域社会ネットワーク領域

- 地域社会ネットワーク領域が目指す教育は?
- A 持続可能な地域社会の担い手の育成

人口減少と少子高齢化の進展、近隣関係の希薄化など、現代社会は大きな変化を経験し、地域社会においてはさまざまな生活課題が浮かび上がってきています。地域社会における多様な生活課題に対処し、持続可能な地域社会を構想していくためには、人々の生活に向き合い、地域住民、地域団体、ボランティア団体・NPO、企業、自治体などさまざまな人々、団体がつながりながら協働していくこと一公共を構想し築くことが大切です。多様な立場にある人々と協働し、持続可能な地域づくりを意欲的に推進していくことができる人材の育成を目指しています。

- Q 地域社会の視点で何を学ぶか?
- A 地域社会の仕組みや地域課題、課題解決過程を学びます

地域社会の構造や機能、現代日本の地方自治のしくみと動向、住民参加の地域づくりの現状と課題などを考える、充実したカリキュラムを設けています。それぞれの地域社会の中で人々はどのような生活を送り、そこにはどのような生活課題が見られ、それらの生活課題を解決するには地域住民、地域団体、ボランティア団体・NPO、企業、自治体はどのような役割を果たしていけばよいのか、社会学・政治学・地理学・経済学などの観点から学びます。

- Q 「現地(フィールド)に出かける」とは?
- A 地域課題について現場で調査しながら考えます

地域社会の現状についてウェブサイトや統計データ、文献資料で研究することはもちろん大切です。しかしそれだけでは、実態がわかったとは言えません。現地(フィールド)に出かけてその雰囲気を感じ、そこに住む人々と話し、地域社会の自慢や悩みに耳を傾けてみましょう。福岡県は旧産炭地からの転換を図る筑豊地域、福岡市と北九州市という異なる特性をもつ大都市、豊かな自然と農林水産業が盛んな筑後地域という、多彩な地域で構成され、アジアとの関係が深い県でもあります。多様なフィールドに出て学ぶことで、地域のさまざまな景観や暮らしに触れ、地域社会の奥深さを感じることができるでしょう。

2つの履

アジア国際共生領域

Locally



公共性の社会学



地域社会学



地域社会分析法C

アジア国際共生領域

Q アジア国際共生領域が目指す教育は?

本 地域と国際社会をバランスよく結んで活躍できる人材の育成

外国人の受入れ拡大へと舵を切り、国内各地でも多文化共生を掲げた政策や窓口が設置され始めた日本。異なる文化や宗教、言語を持つ人々と、違いを認め合い、共存していける国際的知見を培いながら、地域でも国外でも、多様化が進む社会に対応できる、バランスのとれた人材が、ますます必要です。地域社会に軸足を置く本学科は、地域と国際を切り離さず、国際的な視野を持ちながら地域で活動できる人、地域の状況を理解しながら国際社会で活躍できる人材の育成を目指しています。



「地理院地図」より作成

Q 国際共生の視点で何を学ぶか?

▲ グローバル化の中で多様な人々と共に生きる社会について学びます。

社会学と政治、経済、文化、歴史学などを、国際的な視点で横断的に結んで学びながら、共に生きる世界には何が必要かを考えます。 政治学分野では、伝統的な国家間関係では捉えきれない、様々なアクターが関与する今のグローバル社会を「人間の安全保障」という新たな枠組みで見直します。経済学分野では、国家間の経済活動に関する理論・歴史・政策を広い視野で学びながら、アジア地域を中心とするビックイシューを考えます。社会学分野では、豊かな国が富む一方、貧しい国がますます貧しくなる理由や、異なる文化への寛容性が国や地域で違う背景にある制度的、文化的要因などを学びます。

修領域 Globally

地域社会ネットワーク領域

公 共 性

Q 福岡の地で国際共生を学ぶ意義は?

A 国を超えて地域が結びあう多様な世界像を学べる点

世界と結ぶ独自のルートがある福岡には、国連ハビタットやジェトロ福岡、JICA九州など国際的な諸機関が拠点を置き、NGO活動も盛んです。福岡を代表する基幹産業(鉄鋼や環境分野)を中心に周辺諸国間の企業交流や人材交流も活発で、東アジア経済ブロックの中で重要な役割を果たしています。

福岡から中国最大の商業都市・上海までは545マイル、東アジアのハブ空港があるソウルまでは337マイル。東京(566マイル)や大阪(289マイル)と同距離にあるアジアの拠点と直接繋がる福岡に立脚すると、国を超えて、地域と地域が直接結びあう多様な世界像、その中で地域が果たす役割を考えることができます。



国際社会学A



中国の社会と文化



多文化社会論

ゼミ&教員紹介

《《● 実社会で役立つ実践的な経験から学ぶ



岡本ゼミでは、国際的な視点に立ちながら、政治や文化、民族に関わる社会学を学んでいます。活動内容は学生たち自身が話し合いによって決めるので、型にはまらないバラエティーに

富んだゼミです。今年度前期は、韓国威徳大学(慶尚北道慶州市)の李貞熙先生(岡本先生のご友人)の学生たちとZoomによる合同ゼミを行いました。韓国、日本の文化的差異や若者の政治参加について議論をしながら、交流を深めることができました。日本の当たり前が、他国から見れば当たり前ではないということを知り、自身の視野を広げることができたと感じています。また、合同ゼミでは、資料の作成や司会進行も学生たちで行います。そうした意味では、実社会で役立つ実践的な経験を積むことができました。

岡本先生は、元国連NGO職員で、中国留学やアメリカの大学での客員研究員など海外経験を豊富に積んでこられました。その経験をもとに、幅広い視野、多角的な視点で私たちにアドバイスをしてくださいます。また、岡本先生は学生一人一人に寄り添ってくださる先生です。自分の考えがまとまり切っていなくても、学生の興味関心を真摯に受け止め、適切なサポートをしてくださいます。それに加え、岡本先生は国内外に幅広い人脈を持たれています。今年度の合同ゼミのように、今までにない新しい出会いがあることも、このゼミの魅力だと思っています。

ゼミの雰囲気は穏やかで、自分のペースでじっくりと学ぶことができる環境だと感じています。ゼミ生の関心を持っているテーマは様々で、個性も豊かです。多様なメンバーが集まる岡本ゼミで、自分自身の視野をぐっと広げてみませんか?

公共社会学研究I(岡本ゼミ) 松岡 実佳子 広島県立三次高校出身

《 ● 国際比較の視点から社会について学ぶ



佐野ゼミでは国際社会学など日本と世界を様々な視点から比較し考察するグローバル社会学の視点から研究をしています。3年時は『ファッションで社会学する』という本を用いて演習を行い、誰しもが身近にある

ファッションが抱える今日的な課題から世界規模の格差やジェンダー、社会階層についての社会学の視点を理解することができました。演習では章ごとに担当者がレジュメを作り発表し、それをもとに疑問点や深めたい点についてグループ・ディスカッションを行いました。グループ・ディスカッションを通して社会課題に気づく能力や著者の論点を正確に理解する能力を身に付けることができました。また、卒業論文のベースとなる社会学の知識を修得することもできました。

3年生の後期からは、各自が研究課題を設定し、相互に意見を交わしながら研究を進めています。ゼミのグループ・ディスカッションでは、一人では気付けなかった問題や課題について着想を得たり、新たな切り口を見つけたりすることができ、とてもやりがいがあります。また、佐野先生はテーマ選びに悩んでいたら様々なアドバイスや文献の紹介をして下さいます。先生に相談しやすいので研究関心が定まっていない方、新しく研究関心を見つけたい方におすすめのゼミです!

卒業論文指導(佐野ゼミ) 小林 真優 近畿大学附属福岡高等学校出身



岡本 雅享 Masataka Okamoto

【專門】政治社会学·国際学·民族学

【略歴&研究内容】

一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了(博士(社会学))。国際学修士(横浜市立大学国際文化研究科)。

学部生時代から日本と欧米のマイノ リティ、移民政策を比較研究。大学卒 業後、中国(北京師範学院、中央民族大 学)に1年半留学し、少数民族二言語教 育の調査研究を行う。帰国後、国連 NGOに就職し、国連を中心とした人権

活動に従事。大学院進学を経て本学着任。サンフランシスコ州立大学民族学部(College of Ethnic Studies)に客員研究者として1年在籍。近年は日本型Nation Building & Ethnic Studiesとしての出雲学の構築を探究。明治学院大学国際平和研究所(PRIME)及び大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター(CAPP)客員研究員。

研究テーマは民族研究、多文化政策、国連人権活動など。

【主な業績】『出雲を原郷とする人たち』藤原書店(2016年)、『民族の創出』岩波書店(2014年)、『中国の少数民族教育と言語政策』社会評論社(2008年)など

【担当科目】 政治学、国際政治学、多文化社会論、東アジア関係史など





佐野 麻由子 Mayuko Sano

【専門】社会学・開発援助と社会学・ ネパール地域研究

【略歴&研究内容】

立教大学大学院社会学研究科社会学 専攻博士課程修了(博士(社会学))。立 教大学社会学部助教を経て2012年10 月に本学着任。

博士前期課程在籍中に立教大学派遣 交換留学生としてネパール国立パドマ・カンニャ・キャンパス・ウイメンズ・ スタディ・コースに在籍。

現在は、「ネパールにおける市場化・準市場化と男児選好」 という研究テーマで女児の選択的中絶や育児放棄の要因を解 明することに取り組んでいます。

【主な業績】『グローバル現代社会論』文眞堂(分担執筆、2018年)、『開発社会学を学ぶための60冊:援助と発展を根本から考えよう』明石書店(共編著、2015年)、『国際社会学』有斐閣(分担執筆、2015年)、『国際開発と協働―NGOの役割とジェンダーの視点』明石書店(分担執筆、2013年)、『公正な社会とは』人文書院(分担執筆、2012年)など。

【担当科目】

国際社会学A・B、 国際協力論、 NPO論、 社会調査実習 L・IIなど



《 ● ジェンダーについて学び、議論し、考察の質を高める



坂無ゼミでは、現在『はじめてのジェンダー論』(加藤秀一著)という本を読んでいます。ジェンダーの知識を一から学ぶことができ、卒業論文や研究に活かすことができます。各章ごとに担当を決め、レジュメ作成、

発表を行います。その発表をもとに皆で議論を進めていきます。 司会も学生が行い、全員に発表の機会があります。少人数ならで はの発言しやすい雰囲気があり、自分のやりたいことを自由にか つ積極的にできる場であると感じています。また、これからは調 査や論文の書き方についても学んでいく予定です。

自分が考えていたことに対して、ゼミのメンバーから様々な意見や感想をもらえることはとても貴重な機会となっています。4年生の先輩方と同じ空間で研究や発表を行うこともあります。ゼミでの議論から得られるものはとても大きいものだと実感しています。自分だけでは思いつかなかったアイデア、及ぶことのなかっただろう考え、全てが自分の研究や文献の考察に役立ち、研究や考察の質を高めていくための材料になっています。

坂無ゼミでは学生それぞれが色々な分野に関する研究を行っており、様々な視点からの意見をもらうことができます。坂無先生の専門はジェンダー、統計や社会調査ですが、それらに関心のある方はもちろん、その他の分野に関心のある方もぜひお待ちしています!

公共社会学研究 I (坂無ゼミ) 横内 穂乃香 広島県立尾道東高校出身



坂無 淳 Jun Sakanashi

【専門】社会学・ジェンダー研究・社会 調査法

【略歴&研究内容】

北海道大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学。山形大学男女共同参画推進室、立教大学コミュニティ福祉学部助教を経て、2017年4月に本学着任。

私の専門は社会学とジェンダー研究です。主に社会調査でデータを集め分析することで、社会学的に何が明らか

になり、また、どのようにジェンダー平等を達成できるかを研究しています。そのスキルの一つである統計分析は、無味乾燥で苦手意識のある方もいらっしゃるかもしれません。しかし、そのデータの背後には回答してくれた人の生活があります。データをとる、仮説を検証する、新しい発見が生まれる、データをもとに他の人と議論することは楽しく、また今後、色々な場面で役立つはずです。皆さんと一緒に勉強できるのを楽しみにしています。

【主な業績】『社会はこうやって変える!――コミュニティ・オーガナイジング入門』(分担翻訳, Matthew Bolton, How to Resist: Turn Protest to Power, 法律文化社, 2020年). 「大学教員の研究業績に対する性別の影響」『社会学評論』65(4): 592-610, 2015年ほか

【担当科目】統計学、データ分析の基礎、社会統計学 |・||、ジェンダー論、社会調査実習 |・||など

《 ● 都市問題と移民問題、日中関係などについて考える



陸ゼミでは、移民問題、都市問題、日間間係などに関する諸問題、日間間を研究テーマにし、出いるの問題を生みいる社会の現状や学び、組みについての前期によす。3年生の前期は、『移民と日本社会』(永吉

希久子著)や『移民をどう考えるか』(カリド・コーザー著)という文献の輪読を行いました。各章をまとめる担当者を中心に全員が自分の意見や感想を発表するため、より内容についての理解が深まって新しい知見を得ることが出来ます。また、陸先生は中国のご出身で海外経験も豊富なので、私たちには無い多角的な視点で物事を捉えており、お話が新鮮でとても勉強になります。

さらに、私たちが扱っているテーマの規模は比較的大きく、はっきりとした正解がない問題が多いですが、陸先生はゼミ生一人ひとりの意見をそれぞれの考えとして必ず一度受け止めてくださいます。そして共に考え、適切なアドバイスをしてくださるので自分の意見を発言しやすく、ゼミ全体の雰囲気が和やかなことが陸ゼミの魅力です。

移民問題や都市問題に興味がある人はもちろん、漠然と海外や外 国人に関心がある人も是非陸ゼミで一緒に学んでいきましょう。

> 公共社会学研究 I (陸ゼミ) 柳井 香乃 広島県立呉宮原高校出身



陸 麗君 Lu Lijun

【専門】都市社会学・エスニシティ研究・中国の地域研究・中国語教育法研究

【略歴&研究内容】

ー橋大学社会学研究科博士課程修了 (博士(社会学))。農林水産省農業総合研究所(現農林水産政策研究所)特別研究員、(中国)華東理工大学社会与公共管理学院准教授を経て2019年4月から本学に着任。

これまでグローバル化のなかの都市 コミュニティに焦点をあてた研究を進

めてきた。現在は主に日本における華僑・華人の起業とコミュニティ、中国の「農民工」の国内移動と都市コミュニティ問題、日中コミュニティの比較に関する調査研究に取り組んでいる。

【主な業績】『さまよえる大都市・大阪 ―「都心回帰」とコミュニティ』東信堂(共著 2019年)、『中国の「村」を問い直す』明石書店(共著 2019年)、『グローバル都市大阪の分極化の新たな位相 ―日本型ジェントリフィケーションの多様性』URP「先端的都市研究」シリーズ17 大阪市立大学都市研究プラザ(共著2019年)など。

【担当科目】都市社会学、中国 の社会と文化、中国語など



ゼミ&教員紹介

《《●都市問題、社会問題へのアプローチの仕方を学ぶ



堤ゼミでは社会問題、中でも社会的弱者に関する問題を、教育や労働、社会政策などの観点から、問題をつくり出す社会の仕組みや、その仕組みによって社会の周縁に追いやられてい

る人々の実態について学びます。昨年度の後期はホームレスの人々 と出所者を対象に学び、かれらと社会の関係について文献資料や 映像資料を用いて議論してきました。

普段のゼミは、資料を分担してレジュメ化し担当箇所について 発表、考えたことや疑問点を議論するという流れで進められます。 明確な正解がない内容であることも多いため議論が難航する時も ありますが、そのようなときは都度、堤先生が助言や解説をして くださるため、理解できずに終わることはありません。レジュメ の作成や議論の進め方などまだまだ改善点が多いですが、私たち は先生にアドバイスをいただきながら日々精進しています。

堤ゼミでは普段の生活ではあまり知ることのできない人々の内情を学ぶということに加え、個人で興味関心のあることについて学び発表できるため、自分では扱わない分野の見聞を深めた上で、自身の興味関心に対しても新たな知見や視点を得ることができます。ぜひ堤ゼミで自分の視野を広げ、ともに社会問題について考えていきましょう。

卒業論文指導(堤ゼミ) 矢野 想 福岡県立筑前高校出身

《 ○フィールドに出て地域の実態を学ぶ



美谷ゼミは、自分たちの関心のあるテキストを選んで輪読し、それについて話し合うキストで進められます。テキストで進められます。かり上げられている地域内間題などについます。大生がもいいるを確認し、関連する事象をみんなで考え議論します。先生からいるで考えを解説などもあります。の時間は多くの発見があります。

また、ゼミでは前期と後期の2回、巡検という現地観察の実習があります。今年度の前期には下関と門司港、小倉と3つの街を訪れました。自分たちで決めたポイントに実際に行き、その街を観察することで、地域の特徴などを楽しく学びます。事前にリサーチした内容と巡検時に見た様子を照らし合わせることで、より学びを深めることができます。同時に、名物の料理を食べたり、ゼミならではの思い出も作れます。フィールドに出て、知識と地域の実態を結びつけて学べることが美谷ゼミの特徴です。

公共社会学研究 I (美谷ゼミ) 池田 未宥 宮崎県立都城泉ヶ丘高校出身



堤 圭史郎 Keishiro Tsutsumi

【専門】社会問題と逸脱の社会学・ 都市社会学

【略歴&研究内容】

大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。博士(文学)。 2010年より本学に勤務。

これまでホームレス問題に関する研究、生活困窮者支援モデルに関する研究などを行ってきた。現在は、生活困窮者自立支援制度に基づく「排除と差別」に抗する地域社会づくり、福岡市や

北九州市におけるコミュニティ状況把握、農村部における持続 可能な地域生活文化圏のありかたについて調査研究を進めてい る。

【主な業績】『社会再構築の挑戦地域・多様性・未来』ミネルヴァ書房(分担執筆、2020年)、『さまよえる大都市・大阪―「都心回帰」とコミュニティ』東信堂(分担執筆、2019年)、『生活困窮者への伴走型支援―経済的困窮と社会的孤立に対応するトータルサポート』明石書店(共著、2014年)、『ホームレス・スタディーズー排除と包摂のリアリティ』ミネルヴァ書房(分担執筆、2010年)など。

【担当科目】社会学 A・B、社会病理学、社会変動と社会問題、社会調査実習 Ⅰ・Ⅱ など



美谷 薫 Kaoru Mitani

【專門】人文地理学 • 地域行政論

【略歴&研究内容】

筑波大学大学院博士課程生命環境科学研究科修了(博士(理学))。宇都宮市職員などを経て2016年4月に本学に着

学部生時代から市町村合併に関心を 持ち、合併という行政の枠組みの変化 がその地域にどのような影響を及ぼし てきたのかについて、予算や人員といっ た行政の資源配分(具体的には事業費の

配分や職員の配置など)に着目して研究してきました。

また、地方公務員時代には、主に、上下水道の部局で、事業の方針や計画を策定したり、予算の編成・管理を行う仕事などを担当していました。

今後は、「平成の大合併」と呼ばれる全国的な市町村の再編後 15年強が経過することから、引き続き、合併に伴う行政の仕組 みの変化やその結果としての地域社会・地域経済の変容を、丁 寧な実態調査に基づいて明らかにしていきたいと考えています。

【主な業績】『地方行財政の地域的文脈』古今書院(共編著、2012年)、『ローカル・ガバナンスと地域』ナカニシヤ出版(分担執筆、2017年)など

【担当科目】地理学、地理学概論、地域社会分析法C、地方自治論、 地域計画論、社会調査実習 |・|| など

《 ● 地域社会学や環境社会学、農業社会学等を学ぶ



福本ゼミでは、先生が 専門とする地域社会学、 環境社会学、農村社会学 に関連した文献を読み、 担当者がレジュメを作成 し、皆で自身の体験なび を通した意見交換をして います。レジュメには、 要約、意見や考えたこと

だけでなく、みんなに質問したいことも書くため、意見交換の幅が広がり、楽しく議論できます。また、意見交換をすることで、自分だけでは気づけなかった新たな発見があります。前期は、観光と環境に関する文献を読み、農村地域に目を向けています。私は観光について興味があるため、ゼミでの学習が大変役立っています。後期にはゼミ合宿も予定されており、フィールドワーク、聞き取り調査を行うため、実際に自分たちで調査するという貴重な体験ができます。

福本ゼミは、穏やかな雰囲気で話し合えることが魅力だと思います。また、学生の意見を先生が専門的な観点からも深掘りしてくださるため、学生の理解度がより深まります。地域社会について学べるのはもちろんのこと、様々な学びを通して、自分を成長させることができます。みなさんもぜひ、福本ゼミでの学びを通して、自分を成長させましょう!

公共社会学研究 I (福本ゼミ) 武田 晏弓 熊本県立大津高校出身



福本 純子
Junko Fukumoto

【専門】地域社会学・環境社会学・ 農村社会学

【略歴&研究内容】

早稲田大学人間科学研究科修士課程を修了(修士(人間科学))。熊本大学大学院社会文化科学教育部博士後期課程単位取得退学。下関市立大学経済学部特任教員(地域貢献担当)等を経て、2021年に本学着任。

農山村地域へのフィールドワークを中心に、地域住民の方々にお話を聞きながら研究を進めています。主な研究

テーマは以下の2つです。1つは、再生可能エネルギーとしての小水力発電です。農山村にある小水力発電について、地域での位置や役割を分析し、持続可能な地域づくりの方法を探求しています。もう1つは、過疎農山村の地域課題です。特に農業に関する課題(耕作放棄地、獣害、担い手問題など)に焦点をあてて分析し、これからの日本の農山村のあり方について考えています。

【主な業績】『生活環境主義のコミュニティ分析―環境社会学のアプローチ』ミネルヴァ書房(分担執筆、2018年)、「生産基盤縮小にみる集落の自律的再編―広島県庄原市の中山間地域における稲作の縮小を事例として」『熊本大学社会文化研究』17(2019年)など

【担当科目】

地域社会学、環境と災害の社会学、社会調査の設計、社会調査実習 I・II、地域社会分析法Aなど

《《●家族社会学について学ぶ



黒川ゼミでは家族社会学を専門とする先生のもとで、ジェンダー、恋愛、結婚、LGBT、子どもの質困や学習支援などについて考え、議論しています。現在のゼミ生の中でも扱うテーマは多種多様で、それぞれの関心に合った

ご指導をしていただいています。

4年生でのゼミでは、それぞれの関心をもとに設定したテーマで卒業論文の内容を詰めていく作業を行います。それぞれの進捗状況を報告するとともに、他のゼミ生や先生から意見や疑問、提案などをもらうことで、論文の内容をより充実したものにしていきます。

また、黒川先生は私たちの意見や関心をきちんと汲み取っていただきながら、論文の書き方や内容の方向性などを筋立てて丁寧にアドバイスしてくださるので、毎回のゼミで改善点や新たな視点を発見することができます。他のゼミ生やその研究から自分の研究につながる学びを得ることもできます。

そして家族社会学という分野では、現代社会で私たちが抱えている生きづらさや課題に関する知見を深められ、実生活での社会の見方や心持ちに直結していくと考えています。ぜひ黒川ゼミで共に学んでいきませんか。

卒業論文指導(黒川ゼミ) 藤川 夏海 福岡県立鞍手高校出身



黒川 すみれ Sumire Kurokawa

【專門】家族社会学、計量社会学、 労働社会学

【略歴&研究内容】

お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程修了(博士(社会科学))。日本学術振興会特別研究員(DC)、東京大学社会科学研究所特任助教等を経て、2022年4月より本学に着任。

女性のキャリア形成をテーマに、職業経歴が現在の就業行動や意識に及ぼす影響について、計量的手法を用いて

分析を行っています。女性活躍推進制度(女性の積極採用や正社員登用など)にも着目して、企業の職場環境と個人の就業行動との関連について検証し、仕事と家庭の両立という視点から就業支援政策へのインプリケーション導出にむけて取り組んでいます。近年は新型コロナウイルス感染拡大に伴う所得格差拡大の実態把握とその原因の解明、職場や働き方をめぐる個別労働紛争の研究も進めています。

【主な業績】『コロナ禍における個人と企業の変容―働き方・生活・格差と支援策』慶應義塾大学出版会(分担執筆、2021年)、「女性活躍推進と不本意非正規労働」『東京女子大学社会学年報』8(2020年)、「職場や働き方をめぐる個別労働紛争の男女比較分析」『超高齢社会における紛争経験と司法政策』23など

【担当科目】

家族社会学A・B、公共性の社会学、福祉社会学、社会調査実習 I・II、社会学の分析法Bなど

ミ&教員紹介

《 ● 興味のある分野の課題解決について学ぶ



石崎ゼミでは、私たちの 興味のある分野について各々 で調べ、それをまとめた小レ ポートを一人ずつ発表してお 互いに質問や意見を言い合 い、さらに課題を発見した上 で次の小レポートの内容を決 めるという作業をしていま

す。石崎先生は私たちの意見や質問を聞いた上で新しい疑問や意 見、次のテーマについてのアドバイスを与えて私たちを導いてく ださいます。

石崎先生は、物理の物理的性質を原子や分子レベルの構造に基 づいて統計力学を使って解明していく物理学を専門としていて、 講義では数学、情報処理、統計科学などを専門分野とされています。 しかしゼミでは石崎先生の専門分野のほかに保健、医療、福祉、 教育、心理、社会、経済などのあらゆる分野において、自分の興 味のある分野の課題解決に取り組むことができるので、やりたい ことがはっきりしている方は石崎ゼミで研究するのがぴったりで

石崎ゼミは自分の興味のある分野をテーマに掲げて知識を深め、 お互いに違う観点からの意見を出し合い新しい可能性が広がる貴 重なゼミだと思います。是非この石崎ゼミで自分の可能性を引き 出してみませんか?

> 公共社会学研究 I (石崎ゼミ) 上田 琴葉 兵庫県立相生高校出身



石崎 龍二 Ryuji Ishizaki

【專門】 統計科学、数理物理·物性基 礎論

【略歴&研究内容】

九州大学大学院理学研究科博士課程 修了(博士(理学))。

自然や社会の現象を数理的に理解す るためのモデル構築とその解析や新し いデータ解析法の開発などを行ってい ます。最近は非定常時系列に対するパ ターン・エントロピー時系列による解 析と応用に取り組んでいます。

抽象的な数理モデルの計算が多く、

何を目的にして研究をしているのかわかりづらいと思います が、対象とする現象の背景にある規則性・法則性の発見を目指 しています。

講義・演習を通して、数学、情報処理、統計科学の面白さを 伝えていきたいと考えています。

【主な業績】

- 1. Ryuji Ishizaki, Masayoshi Inoue, "Time-series analysis of multiple foreign exchange rates using time-dependent pattern entropy", Physica A, Vol. 490, No. 15 pp. 967-974, 2018.
- 2. 駒澤勉・橋口捷久・石崎龍二『新版 パソコン数量化分析』,朝 倉書店, 1998年

【担当科目】情報科学、情報数学、プログラミング概論、 データ処理とデータ解析 |・|| など

取得可能な教育職員免許状

- ■高等学校一種免許状(情報)2022年4月開始■高等学校一種免許状(公民)
- 中学校一種免許状(社会)

福岡県立大学人間社会学部公共社会学科では三種類の教員免許 状を取得することができます。中学校教諭一種免許状(社会)、高 等学校教諭一種免許状(公民)、高等学校教諭一種免許状(情 報) です。

公共社会学科では、新たな公共性、地域社会、国際共生の視点か ら、コミュニケーション能力や社会調査の分析力、問題解決への企 画・提案力、さらにICTのスキルを身に付けます。こうした資質は、同時 に現在の学校教育において、教員として必要な資質にも応用可能で す。教職課程では教育学や心理学、さらに各教科にかかわる専門的

事項などを学ぶことで、教員と しての教育実践力の修得を目 指します。

公共社会学科における学び を活かし、自己の成長につな げるとともに、教職課程を通 じ、教員としての自覚と使命 感、資質を体得してください。



高等学校教諭一種免許状(情報)が 2022 年度 (令和4年度)より取得可能になりました!

2022年度(令和4年度)より、高校「情報」の教員免許状が取 得できるようになりました。

公共社会学科の専門教育科目は、「基幹科目」「現代社会課題」 「地域社会ネットワーク」「アジア国際共生」「社会調査・情報処 理」「関連科目」から構成されています。

高校情報の教職課程は、学科の学位プログラム(学士(社会 学)) の体系性に配慮し、専門教科である「社会調査・情報処理」 科目群の専門性をベースに教育課程を編成、認可されました。

高等学校の教科「情報」では、令和4年度入学者から「情報」」が 必修となっており、情報社会の問題の発見・解決に向けて、情報と 情報技術を適切かつ効果的に活用する力を育むことが教育目標と なっています。本学の情報の教職課程では、こうした力をさらに伸 ばすために、「データ分析の基礎」「プログラミング概論」「マル チメディア論」「地理情報システム論」「情報ネットワーク演習」 「データベース論」「情報ネットワーク論」等の豊富な科目群を開 設しています。

また、高等学校の選択科目の教科「情報II」では、「情報I」を学 んだ上で、情報や情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する 力を育むことが教育目標となっています。本学の情報の教職課程 では、こうした力をさらに伸ばすために、「社会統計学 |・||] 「データ処理とデータ解析I・II」等の豊富なコンピュータ・情報処 理の科目群を開設しています。

さらに、本学では、どの学部の学生も学べる全学横断型の教育 プログラムとして、統計・情報の知識を保健福祉分野での課題解 決に活用できる力を養成するデータサイエンス・プログラムが開 設されています。「データベース論」「情報ネットワーク論」 「Webデザイン演習」「プログラミング演習」「情報検索システ

ム論」「個人情報法制」等のデータサイエンス・プログラムの科目は、学科の専門教育の「関連科目」群に配置され、高等学校の情報科を教授するのに必要な内容をより深く学べるように編成されています。



\left<Ќ ● 教職課程の学びを成長につなげる

教職課程では、少人数制で 充実したサポートのもと、教 育分野の基礎や授業を実践す る上で必要な知識、技能を学 ぶことができます。1・2年 次では教育学の基礎を学び、 3年次では模擬授業として 実際に50分間の授業を行う



ことを経験しました。授業準備段階での学習指導案づくりや振り返り、意見交換を通じて、自分だけでは気付くことのなかった問題点や課題を発見し、次回以降への改善につなげました。2・3年次には社会福祉施設や特別支援学校での介護等体験を通じて、講義だけでは学べない貴重な体験を得ました。また、3年次の学校インターンシップでは中学校の教育活動に実際に参与することで、現職の先生方の授業や生徒とのかかわり方に接して実践的な学びを重ねました。

入学当初は教育に関する知識もなく、短い時間の発表を行うだけでも声量、視線、表情、話す内容などに多くの課題がありました。しかし、同じ教職課程履修の仲間と切磋琢磨しながらこの4年間で大きく成長できたのではないかと思います。今年度の教育実習は感染症対策をとりながら、なんとか予定通り行うことができました。実際に中学校で授業を行うことには緊張を伴いましたが、同時に自分が教職課程で学んだことが実践に活きることに気づけました。

福岡県立大学の教職課程を履修することで、教職の楽しさと厳しさの両方を学ぶことができます。相手に何かを伝えることや、何度も実践、反省を繰り返し物事の本質を追究するという経験は、教職にとどまらず汎用的で大切な能力です。4年間の教職課程で学んだことを将来に活かしていきたいと思います。

中·高教職課程履修 公共社会学科4年 浅原 玲太 京都府立南陽高校出身

《《 ● 高校情報免許の知識は高度情報化社会を生きる重要な力に

1年次では不正アクセスなどのサイバー犯罪に対する情報セキュリティについて学習します。また、実際にコンピュータを用いたデータ分析の方法についても学習します。当初は情報機器を利用

すること対して、強い苦手意識を感じていました。しかし、担当の先生方による丁寧なご指導や他の受講生からのサポートを受けていく中で、情報機器の利用に対する苦手意識は徐々になくなり、自身



の成長を実感することができています。講義外においても質問に対応する時間が十分に設けられており、自分のペースに合わせて学習を進めることができます。2年次ではネットワークシステムの構成や周辺技術について学習します。また、プログラミングの基本的な概念や技法についても学習します。1・2年次の延長線上として、3年次では個人情報の保護や利用について、法制度と絡めて学習します。また、社会学・心理学・教育学等の幅広い分野に必要な統計解析についても学習します。

教職課程では、2022年度より高等学校教諭一種免許状(情報)を取得することができるようになりました。教員免許状の取得を目指すことで、同時に上級情報処理士資格に関する知識も身につけることができます。情報機器に関する知識を身に付けることは教職にとどまらず、現代の情報化社会を生きていく上で非常に重要です。福岡県立大学で学んだ知識を将来に活かしていきたいと思います。

中·高教職課程履修 公共社会学科2年 村橋 要 福岡県立小倉南高校出身





藤澤 健一 Kenichi Fujisawa

【専門】教育学・教育制度学・教育政策学 【略歴&研究内容】

筑波大学大学院博士課程教育学研究科。2000年より本学に勤務。教職課程のうち基礎的な事項にかかわる講義を中心に担当。研究分野は、教育の管理運営にかかわる歴史分析です。とくに小学校を中心とした教員の組織、団体、制度・政策に関する研究に取り組んでいます。教師という職業の本質とはなにか、それは歴史的にどのようにあったのか、また、理念としてどのよ

うにあるべきかを考えています。

【主な業績】(共著)教育制度研究会編『要説 教育制度』新訂第三版、学術図書出版社、2011年、(単著)『近代沖縄教育史の視角―問題史的再構成の試み』社会評論社、2000年、(編著)『沖縄の教師像―数量・組織・個体の近代史』榕樹書林、2014年、『移行する沖縄の教員世界―戦時体制から米軍占領下へ』不二出版、2016年。

【担当科目】教育学概論B、教師論、教職実践演習、教育実習事前事後指導など



社会調査実習

「福岡県内の自治体における 男女共同参画の状況に関する調査」



男女共同参画センターヒアリング

治体における男女共同参画の状況に関する調査」、「田川地区における農業の課題と実践に関する調査」、「北九州市の暮らしと仕事に関する調査」の3つのグループで調査を進めています。

「福岡県内の自治体における男女共同参画の状況に関する調査」をテーマとする私たちのグループでは、福岡県立大学が立地する田川市に焦点を当て、男女共同参画に関する政策や地域で活動する団体の活動などについて、調査を行っています。これらの調査から、地域の男女共同参画の現状と課題、また解決策について、分析を行います。

具体的には、田川市を中心とした地域で男女共同参画・ジェンダー関する活動を行っている団体・行政への聞き取り調査や、田川市で行われる男女共同参画に関するイベントでの参与観察などを中心に調査を進めています。これまでの実習の中では、地域や男女共同参画に関する情報収集と受講生間での意見交換を行ったり、実際に行政で男女共同参画に関わっている方をお招きして、男女共同参画社会に向けての今までの取り組みや歴史、現状や課題について、聞き取り調査を行ったりしてきました。今後は、地域で子育て支援や男女共同参画に関する活動を行っている団体へのインタビュー調査や、田川市男女共同参画センターが実施するイベントでの参与観察調査などを行う予定です。年度末までには、これらの調査の結果を分析し、報告書にまとめていきます。

今まで学科の授業で調査方法について学んできましたが、 実際に調査を行うなかでその難しさを実感しています。ただ インタビューなどをするのではなく、調査を通して明らかに したいことを見据えたうえで、自ら質問や聞き取りを行わな ければいけません。慣れないことも多く、大変だと感じるこ ともありますが、学んだことを早いうちから実践できるいい 機会だと思っています。インタビュー結果を文字に起こす テープ起こしなどの実際の作業も実習を通して初めて経験す ることばかりです。この社会調査実習で得た知見や能力は、 これからの学びにも深くつながり、個人研究にも必ず役に立 ちます。今後の調査も最後まで責任をもって取り組みたいと 思います。

> 社会調査実習(坂無グループ) 甲斐 遥 大分高校出身





北九州市男女共同参画推進課ヒアリング

国際交流プログラム・交換留学

🕻 留学で新たな自分を見つけ、成長したい!

私は現在、南京師範大学に 留学しています。新型コー、 ウイルス感染症の影響での授 期は全てオンラインでの授間 となりました。毎日2~4時間 程度、言語とリスニングて 程度、言語とリスニングでの 程度で 話が ます。3年間中国語の 受けてきましたが、初めは

二、语法
L、"比"字句
(1) A比B+形容词。比如:
飞机票: 1000块。
火车票: 350块。

かなか理解できず、質問に答えることができないことが多かったです。しかし、先生方や南京師範大学の学生さん達がとても熱心に発音や文法を教えて下さるので、オンライン授業でも問題なく中国語が上達し、今では会話をすることが出来るようになりました。授業の中でも話す機会が多くあり、毎回楽しく談笑しています。また、南京師範大学にはイタリアやガーナ、ウクライナ、インドネシアなど様々な国からの留学生がいるので、中国語だけではなく他国の文化も学ぶことができ、毎日多くの発見があります

新型コロナウイルスの流行に伴って留学が1年延期になり、現在も渡航できるか分からない状態ですが、毎日全力で楽しみながら授業に取り組むことを意識して頑張っています。この留学がこれから先の人生の中で強い影響力になるよう、色々なことを吸収し、成長していきたいと思います。

公共社会学科4年 西村 日那 徳島県立城南高校出身

《《 新しい自分に出会わせてもらい、一生の友達も出会う

私は、新型コロナウイルスの世界的感染が始まった頃に三育大学校に留学をしたため、周りに日本人は一人もおらず、友達もすぐにはできなかったので、最初は辛い日々を送っていました。しかし、寮の友達や他の外国人留学生、先生方が助けてくれ、たくさんの愛をもらった1年になりました。

毎週土曜日には大学内にある 教会に行き、国籍や宗教に関係 なく、様々な国から来た友達と 交流しました。そこでは、お互



いを理解し、受け入れることを学びました。また、そんな友達との 生活の中で、助け合うことや思いやりを持つことの大切さを改めて 感じ、自分を見直すことができました。この留学で私は好きな自分 に生まれ変わった気がしています。

留学の経験は、私に、語学力やお互いを理解する大切さだけでなく、新しい自分にも出会わせてくれ、一生の友達も与えてくれました。この1年間は宝物です。

これからは、この経験を生かして、その友達に負けないように、 頑張ろうと思います。

> 公共社会学科4年 井上 歩美 宮崎学園高校出身

キャリア支援プログラム

交換留学協定校

中国



南京師範大学(江蘇省南京市)



珠海科技学院(広東省珠海市)

韓国



大邱韓醫大学校 (大邱市)



三育大学校 (ソウル市)



威徳大学校(慶州市)

公共社会学科では専門教育と連動したキャリア支援プログラムを設けています。本学科で学んだ公共性や地域社会・国際共生に関する専門的な知識、リサーチや分析能力を、各自のキャリア形成を展望しながら応用し、活用するためのプログラムです。

学生はそれぞれの進路希望に応じて自由にプログラムを選択できます。

なお、大学内のキャリアサポートセンターと連携し、組織的に就職情報の収集を行い、企業 インターンシップの促進など学生のキャリア支援を強化します。

1 社会調査士資格取得支援プログラム

社会調査は生活の実態や社会的課題を明らかにする技術です。たとえば、市町村が何かの計画を立てようとする際の住民ニーズの把握や実現方法の選定に用いられます。そして、社会調査の技術の基礎を習得している人に与えられるのが、一般社団法人社会調査協会が認定する「社会調査士」資格です。資格取得に必要な科目は公共社会学科のカリキュラムに全て含まれています。キャリア支援プログラムでは、社会調査の応用――授業や実習で習得したデータ収集・分析とそれに基づく企画能力が企業や行政などでどのように利用されているかなど――について認識を深めるとともに、社会調査協会や日本社会学会の最新の動向を情報提供し、資格申請手続きを円滑に行えるよう指導します。

2 教職免許取得支援プログラム

公共社会学科では高等学校教諭一種免許状「公民」「情報」と中学校教諭一種免許状「社会」が取得できます。本学科では、現代社会の諸問題の分析と高度福祉社会構築への実践的提案力を活かして子どもの教育に独自の貢献をすることができます。

カリキュラムとは別に、職業としての教職という側面から関連する情報を提供し、互いに意欲を高めあって進路選択に活かせるよう支援していきます。次の2項目を目標にします。

- (1) 教職の現状(学校現場、教職の展望等)について認識を深める。
- (2) 教員採用試験の現状を知り受験準備のための意欲を高める。

3 情報処理関係資格取得支援プログラム

上級情報処理士

本学の所定の単位を修得すれば、上級情報処理士の資格を取得することができます。 上級情報処理士は、全国大学実務教育協会が認定する資格です。次の4点が教育目標と なります。

- (1) 高度な情報処理技術の応用を身につける。
- (2) ビジネスで活用されるソフトウェア技能の応用を身につける。
- (3) プレゼンテーション能力の応用を身につける。
- (4) オフィスの組織や情報の流れを活用する技能を身につける。

上級情報処理士の資格を取得することは、以上のコンピュータを使いこなせる技術が身 についたことの証になります。

キャリア支援プログラム

マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)

本学は、隣接するたがわ情報センターと連携し、MOS資格取得講座を開講しています。MOSはエクセルやワードなどのマイクロソフトオフィス製品の操作スキルを証明できる資格です。マイクロソフトオフィスは、現在、多くの職場で活用されている代表的なアプリケーションソフトです。

この認定資格は、企業での認知度が高いため、就職活動前に取得しておきたい資格です。



4 公務員受験支援プログラム

公共社会学科では、公共性の社会学やコミュニティ論、地方自治論など、地域社会や地方自治について学ぶさまざまな専門科目を開設しており、学科の目標や学習内容から、特に地方公務員はキャリア形成を考える際の選択肢の一つだと言えます。

全学的には、2・3年生を主な対象とした教養試験対策講座が開設されており、本学科の公務員志望者にもこの講座を受講するように勧めています。また、地方自治体の現場でのインターンシップを経験する学生も多く見られます。

学科独自のプログラムとしては、公務員志望者向けの履修モデルを提示したり、近隣の自治体職員の方や官公庁に就職した学科のOB・OGを招いて、業務内容や試験対策について伺うセミナーを実施しています。 学科で開設している科目においても、自治体研究の手法を取り上げるものや、実際にフィールドに出て地域の課題を明らかにする実習科目など

学科で開設している科目においても、自治体研究の手法を取り上げるものや、実際にフィールドに出て地域の課題を明らかにする実習科目などもあり、これらを受講することで二次試験以後の対策にもつながるように指導しています。



公務員受験支援プログラム 「先輩に聞いてみよう」 講師:公務員試験合格者の4年生

5 ビジネス・スキル修得支援プログラム

本学では、全学のキャリアサポートセンターを中心に、進路・就職ガイダンスや業界研究のセミナー、合同説明会へのバスツアーなどが開催されており、個別相談や面接対策も実施されています。また、キャリア教育の一環として、授業として位置

づけられる1年次でのインターンシップなども開講されています。公共 社会学科では、これらの取組みを補完する形でセミナーの開催や相談へ の対応を実施しており、自己分析、履歴書やエントリーシートの作成、 業界研究など、就職活動に必要となるスキルを修得できるように支援を 進めています。

ここまでに掲げた教職や情報関連、公務員試験等の4つのプログラム のなかでも、上記のスキルを修得できるように支援していますが、それ に加えて、民間企業向けの就職活動については、4年生の内定取得者や 卒業生などから体験談等を聞くセミナーなども開催しています。



JA福井県(福井県農業協同組合) 薮内 みき(2017年卒)

私は地元の福井県にUターンして旧JA福井市に就職し、現在はJA福井県(福井県農業協同組合)で働いています。総務部トータルサポート推進課という部署で、農家に配布される広報誌『ふくふる』を作ったり、HPやSNSの運用、日本農業新聞(農家や市場関係者などが読む全国紙)に記事を出稿するなど、主に広報業務を担当しています。大学の授業で一村一品運動など地域活性化について学んだとき、農産物を使った地域振興に興味を持ち、そういう活動に携われる仕事がしたいと思って就職活動をしました。

今は一眼レフカメラを持って管内の取材活動をしています。最初はどんな質問をしたらよいのかも分からず、取材はしたけれど記事の書き始めやまとめ方が分からない、なんてこともありました。だけど、広報誌を読んだ方から直接声をかけてもらったり、日本農業新聞に記事が大きく掲載されるととても嬉しく、仕事のモチベーションアップに繋がりました。写真技術や文章能力を高めることはもちろん、農業・JAをもっと知ってもらうためにはどうしたら良いのか、日々奮闘しています。

昨年は、日本農業新聞の通信員として積極的に取材活動を行い、紙面の充実に尽力したとして、近畿・北陸地区の通信員の中から優秀賞をいただき、さらにやる気が高まりました。これからも福井県の農業を盛り上げていく一員として、福井県内外にたくさん情報を発信していきたいです。



JA福井県本店にて、いつも持ち歩いているカメラと一緒に

下関市役所福祉部 髙木 梓沙(2016年卒)

私は海外の文化を学ぶことが好きで、在学中はヨーロッパの国々に旅行に行ったり、中国の南京師範大学で1年留学したりと、様々な国を見て回りました。その経験から、これまで気がつかなかった地元の魅力に気づき、地元に貢献できる仕事に就きたいと考え、公務員試験を受けて、生まれ育った山口県下関市で市民の生活を支える市役所に就職しました。下関市は、壇ノ浦の戦いや下関条約等、歴史豊かな町であり、関門海峡に面している自然豊かな町でもあります。

そんな下関市役所で私が所属しているのは、福祉部保険年金課です。 保険年金課は、国民健康保険や後期高齢者医療保険といった保険事業や 国民年金に係る業務を行っています。その中でも私は、国民健康保険事 業を適正に運用するための報告業務や補助金業務、支払い業務をはじめ とする庶務事務を担当しています。直接窓口で市民に対応することはあ りませんが、加入者の方が病気や怪我等に見まわれた際に、少しでも負 担を軽減するには、適正な保険事業の運用が不可欠なので、やりがいの ある仕事です。

市役所は数年毎に部署異動があります。どの部署に移っても、地元の

ためになる仕事をしたいという初心を忘れず、誠実に業務に向き合っていきたいです。



市役所本庁舎新館前にて

独立行政法人労働者健康安全機構熊本労災病院 吉浦 輝(2021年卒)

私は、独立行政法人労働者健康安全機構に採用され、現在は熊本労災病院に勤務しています。会計課用度係に所属しており、仕事内容は一言で表すと、「院内で使用する物品の調達」です。しかし院内で使用する物品といっても、鉛筆・消しゴムなどの"事務用品"や、プリンター・ロッカーなどの"備品"、フェイスシールド・注射器などの"医療消耗品"など、様々です。扱う物品が様々ということは、関わる業者の方も様々です。院外の業者さんとの関わりが多いと、院内で働いているだけでは知り得ない知識・情報を得ることができます。そしてそれらを、自身の成長に繋げることができる。これこそが、用度係という仕事でのやりがいです。また、事務職員でありながら、机上の作業ばかりではない。まるで「院内の業者(何でも屋)」のような面白いポジションであることも、やりがいの一部です。

"社学"に入学したことを今振り返ると、とても良かったと思っています。入学当初は、自身の将来についてこれといった目標も無く、興味のある分野も少ない私でした。しかし、"社学"は良い意味で将来の方向性に縛りが無い為、「可能性」が無限に広がっていることに、ふと気が付きました。それからは、自分が興味を持った事に、できるだけ挑戦するようにしました。ただ、気が付いたのが大学生活の終わり頃だったので、多方面で不完全燃焼な形で卒業を迎えました。そのためか、社会人になっても興味を持つ幅は広がり続け、現在も少しずつではあ

りますが、自身の「可能性」を信じ、色々と 挑戦を続けています。

これからも、県大"社学"で見つけた「可能性」を「実現」に導く為に、より一層努力していきたいと思います。



熊本労災病院にて

活躍する卒業生

福岡県庁 宮本 瑛介(2015年卒)

私は福岡県職員に採用され、今は県庁商工部の新事業支援課で、デザイン開発ワークショップ、農商工連携、庶務の業務に従事しています。デザイン開発では、県内中小企業のデザインカの向上を図り、付加価値の高い製品の開発を促進するために、大学の先生や県内外で活躍されているデザイナーを講師に迎え、デザインについて学ぶワークショップを実施しています。

大学入学前から公務員を志望しており、在学中、大学主催の公務員 講座を受講していました。学生時代を思い出すと、ハワイやイギリス での短期留学、サークル活動など楽しい思い出ばかりです。多くの人々 と交流したことで、視野が広がり、多面的な考えが出来るようになり ました。これらの経験は、今の仕事にも役立っています。

県職員は定期異動で様々な部署に異動します。以前は福祉事務所で、 生活保護のケースワーカーをしていました。生活保護を受給している 家庭を実際に訪問し、現状に沿った支援を行う仕事です。異動で全く 別の分野に移り、また一から勉強しなければなりませんが、新しいこ とに携われるため、刺激的な毎日を過ごしています。

今後も様々な部署で活躍できるよう頑張っていきたいと思います。



福岡県庁商工部新事業支援課にて

株式会社 リーガル コーポレーション 高橋 つぐみ(2019年卒)

私は靴の企画・開発、製造・販売を行う㈱リーガルコーポレーション に入社し、現在はグループ会社の㈱リーガル販売で営業職をしています。 一言に営業と言っても、その内容は多岐にわたり、売場に立つ販売スタッ フの教育・マネージメントから商品の提案、販促・フェアの企画や在庫・ 売上管理などです。

自分の裁量で出来る事が多い分、責任は大きいのですが、お取引先様との商談が成功して販売に結び付いた時や、販売スタッフから頼りにしてもらえる時には、やりがいを感じます。商談の席では、在学中に履修した教職課程や講演会を企画した経験、イギリスや韓国の大学での研修経験などが、今の自分のコミュニケーションカやファシリテーションカなど、話す力に繋がっているなと実感することがあります。

大変な時もありますが、職場では上司や先輩が「こうしたい!」という 私の提案を実現するためにサポートして下さるので、仕事がとても楽しく、この会社に入って本当に良かったと感じます。将来は営業職で培った知識や経験、会社を超えた繋がりを活かして、今以上に魅力的な靴の企画や提案をしたいと考えており、そのためにも今後も先輩方が私にしてくださったように、心遣いや感謝を忘れずに仕事に取り組んでいきたいと思います。

私たちには「靴を通して、お客様に、足元から美と健康を提供する」と

いう事業ミッションがあります。靴はファッションアイテムであるとともに、皆さんの健康を守る必要不可欠なアイテムです。これからも一人でも多くのお客様に弊社の靴を履いて日々の生活を豊かにしていただくために頑張ります。



自社ショールームでの商談の様子

北九州市消防局 内田 ななみ(2018年卒)

私は北九州市消防局に就職してから3年間、消火隊として火事などの 災害業務にあたり、今年度から救急隊として救急業務に携わっています。 119番で救急要請があれば、いつでも現場に向かい、処置や病院への搬 送をする傍ら、救命講習や避難訓練、立入検査など、予防に関わる業務 も行っています。

火事や救急はいつ起こるか予測できず、24時間体制で備え、夜中の 出動があれば、仮眠をとることもできません。道幅や消火栓の位置から 地理や救急、医療に関する知識まで覚えるべきことは多く、常に逼迫し た状況で、現場では臨機応変の活動が求められます。最初は大変でした が、搬送した人が元気になり、お礼を言われた時など、とてもやりがい を感じます。救命講習等での市民との交流も、良い経験になっています。

在学中の講義ではグループワークもあり、交友関係を深めながら、いろんな考えをもつ人がいることを知り、視野が広がりました。現代社会の様子を学んで、現場の状況を想像できるのは、今の仕事に活かせています。卒業後の道が限られていない学科で、自分のペースで道を探すこともできました。就職に関する講義でのバックアップもあったりして、安心して就職活動に挑めました。大きい大学でない分、大学内の交友関係も持ちやすく、仲が深められました。

消防士といえば、男性のイメージが強いと思いますが、女性ができる 業務はたくさんあります。私が働いている姿を見て、女性が活躍できる 職業が増えていることを、多くの人に知ってもらいたいです。



勤務終了後に

北九州市立小倉総合特別支援学校 鬼塚 正人(2016年卒)

私は、北九州市の特別支援学校の教員として、基礎疾患や肢体不自由のある児童生徒が通う特別支援学校で中学部 1 年生の担任をしています。身体機能や知的発達、認知面など、子ども達の様々な実態に応じて、自立と社会参加に向けた支援や指導を行っています。

元々、中学校の教員を志望していましたが、大学在学中の、地域の小中学校でのボランティア活動の中で、個々の学びにくさや生活のしづらさを抱えている児童生徒に出会い、その原因や必要な支援について自分なりに考えるようになりました。そして、特別支援教育についての専門性を高め、特別支援学校や特別支援学級で障害のある子どもたちの学びに携わりたいと考えました。そこで、県立大学の教職課程で中学校と高等学校の教員免許を取得し、卒業後は、熊本大学特別支援教育特別専攻科に進学をして、特別支援学校の教員免許を取得、北九州市の教員採用試験に合格し、特別支援学校の教員になることができました。

特別支援学校に通う重度重複障害のある生徒の中には、周囲との 意思の疎通が難しい生徒がいるのが事実です。そういった中で、生 徒の反応や意志の表出を引き出すための支援や環境設定を考えるの は、大変ではありますが、私が1番やりがいを感じている部分です。

また、現在は、学校現場におけるICT機器の活用の推進に力を入れて取り組んでいます。そのため、ICT機器を活用した実践研究を進んで行ったり、校外でそれらの実践を発表したりしています。

将来的には、より多くの子どもたちの教育的ニーズにこたえられるように、地域における特別支援教育の中核を担う存在になりたいと考えています。

特別支援学校で働く上で、私が 大切にしていることは、常に考え、 学び続ける姿勢です。障害の種類 や程度に関わらず、様々な子ども たちの変化していく実態に柔軟に 対応していくために、現在行って いる支援や指導に満足することな く常にアップデートを続けていく 教員でありたいと思っています。



授業風景

jcom大分ケーブルテレコム株式会社 遠藤 美貴(2021年卒)

私は地元・大分にあるjcom大分ケーブルテレコム株式会社に就職し、現在はカスタマーサービスグループに所属しています。テレビやネット、電話など、地域の皆様の暮らしにかかわるサービスを幅広く扱う会社で、メディア部門もあるため、番組制作やアナウンサーなどの業務も自分たちで行っています。

私が今、主に担当しているのは、電話対応の結果をシステム上に入力したり、他の部署に依頼するなど、日々沢山のお客様や取引先と関わる業務です。サービス面や技術面など、幅広い知識が必要で、まだまだ覚えるのに必死です。

しかし、1日の間でも沢山のお客様と話すことができ、感謝の言葉をいただくことも多く、自分が人の役に立っていると実感できることに、やりがいを感じています。また、会社として、お祭りや清掃活動などの「地域密着」を大切にしており、地域のイベントに参加することも、よくあります。小さい頃からお世話になってきた地元の大分に貢献できることを、嬉しく感じています。

公共社会学科では、幅広く様々な分野を学ぶことのでき、興味を持ったことにはその都度取り組み、4年間をかけてゆっくりと自分の将来について考えることができました。また授業やゼミでは、様々な分野の人と関わることが多く、それによって、自分の周りの世界だけ見ていたのでは知り得なかったことを、たくさん学べました。この学科にいたからこそ、自分の価値観や視野が広がり、様々な立場から物事を考える力が、少しは身に付いたと考えています。社会人になり、こうしたことが、仕事をする上でとても大切なことだと分かりました。お客様や上司、同僚や取引先の方々など、様々な人々の立場に立って考え、行動できる人こそ、周りから信頼される社会人だと感じています。私はまだ自分のことで精いっぱいなことが多いですが、そんな先輩たちに憧れて、自分も、そうなれるよう日々

努力中です。 私が大学の4年間で得た一番のものは「人とのつながり」です。出会った友達、先生方、バイトの仲間たち、外部講師の方や就職のサポートをして下さった学生支援班の方々など、様々な人たちの幅広い知識や考えを知り、関わり、吸収することで、人として成長できました。皆さんもぜひ、大学4年間という時間をかけて多くの学びを得

て、自分の世界を広げて下さい。



会社の玄関にて

株式会社イデックスビジネスサービス 橋本 佳奈(2014年卒)

私は、株式会社イデックスビジネスサービスで、業務コンサルティング兼プログラマーとして働いています。弊社では、「法人のお客様の働き方を進化させる」ことを理念に、オフィスの移転から、空間のデザイン設計、通信やネットワークインフラ構築、そして最新テクノロジーの導入から運用支援まで包括的なサポートを行っています。

現職の「デジタルR&D課」では、最新のICTツールを用いながら、お客様の仕事を整理したり、自動化したりする仕事をしています。いわゆる「文系」出身の私で良いのか…と思いながらも、お客様の困りごとを直接解決できること、プログラミングという新しい知識を身に着けられることに魅力を感じ、入社2年目に配属希望をお願いしました。

在学中は、進学前から感じていた社会への疑問が解き明かされる感覚が面白く、様々な講義を受け、大学院にも進学しました。そこで培った「社会の常識を疑い、様々な角度から物事を捉える」という考え方や社会学の知識は、私の今の仕事に大いに役立っています。

例えばお客様の業務ヒアリングを行う際は、「お客様の言葉の裏を想像する」ことを心がけています。「これは出来ない」と言われたら、「本当に出来ないのか」、「やりたくないのか」、「出来ないと誤認しているのか」等、どのような意味なのかを確認します。そうすることで、お客様が想像していないような解決方法を提示できる場合があります。今後も、「当たり前を疑う」視点を忘れずに、「みんなが今より働きやすい職場づくり」のサポートを頑張っていきたいと思います。



業務ヒアリングの様子

2000年8			社会学の分析法B	CSR(企業の社会的責任)論 集合行動論	★学研究 I ○公共社会学研究 I ○○公共社会学研究 I ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	分析法A) (地域社会分析法B)	論(教養科目)	き学 な社会変動と社会問題		各論) 公共経済学		の社会学	\$分析法A			ま分析法C (地理情報システム論)	網物	が で ため 対議		éA 文化人類学B		\rightarrow	(文化人類学B)	48 /= 1-	馬上く		哲学要論		A1 法律学概論 I		/ク演者 情報を表システム論 (個人情報活制)	名様レネジメント			mm 安月のカダと米球 ・ 数数十分をおける おおおお () ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			444		育法 1 社会科教育法 I		情報科教	10 10 10 10	教司美宙學則學依指導(中局) 数職美徒演習(中局)
After alle	W III		繼OdN☆	CSR(企業の社会	〇公共社会学研究 I	(地域社会分析法A)	ジェンダー論(教養科目)	ヶ福祉社会学		(アジア経済論)		環境と災害の社会学	☆地域社会分析法A	公共社会学特請A	地域社会分析法B	☆地域社会分析法C	や アジア経済論	国際教育文化交流論		文化人類学A		☆データ処理とデータ解析 I		2011年報報の111120日本	心年言報ンクト		倫理学	-		地域福祉論工	フロクラミンク演習	縄上いみま	ビジネス倫理	44.米温和			生徒指導論B	情報と職業	教育相談	社会科教育法 1	公民科教育法 1	情報科教育法I	_	
497 440	仮拠	〇社会学史Ⅱ	社会学の分析法A		(社会調査実習工)	家族社会学B		(社会学の分析法A)	現代社会論C(情報社会と法)	★暮らしの経済学		コミュニティ鮨			★地方自治論		国际红宝子5	東アジア関係史		宗教学(教養科目)		社会統計学工	質的調査法	社会調査実習工	ロノロン ノミノン 処舗 情報ネットワーク演習	マルチメディア論	西洋史概論 / (東アジア関係史)	社会教育論/生涯教育論	(現代社会論の(情報社会と法))	地域福祉論 I	情報ネットワーク編 データベース端	問題解決演習	人的資源管理論	4.016.4.14.1.14.1.14.4.14.4.14.4.14.4.14	なMOX債がPRC1の上来の前年 然会的な利用の時間と指導決	特別活動				教育心理学概論				
		〇社会学史 I			(社会調査実習 I)	★家族社会学A	現代社会論A(ジェンダー、世代)	★社会病理学	現代社会論B(情報社会論)	仕事の経済学		都市社会学				★地理学概論	★国際化芸子A	★多文化社会論		イスラム社会論	★社会調査の設計	O社会統計学 I		社会調査実習Ⅰ	4 #K \$X +		日本史概論			1	WEBトサイン演画			ŧ.	グニグ									
0# 400	5	〇社会学概器 〇十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	社会心理学	人格心理学		*	遊	*	強	社会政策論 仕	経済学(教養科目)					(世界地理)	■原居之間 本国際店沿船	文化		世界地理	○社会調査法	統計学(教養科目) C		20			哲学(教養科目)		憲法(教養科目)	(社会政策論)	M			44-64-54										
89.498		○ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	T		〇(教養演習)					*	3%	*				#	日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		#	#	0	〇データ分析の基礎制		本の 一番			朴山	オ人心理学		社会福祉学概論 I										発達心理学 I - A				
2770	15 772	社会学(必修コア)		公共任 相職 社芸心理		家族・ジェンダー		福祉 社会問題	情報社会	级这 社合事件	栓角 化宏吸束	本位, 故书	دانية يجمئ	特講※シラバスを参照	自治 住民参加	地理学	化汞C照光 防治 怒浴		文化と歴史	人類学 宗教 地誌	社会調査総論	4析	質的調査	社会調査実習	情報処理		歷史·哲学·倫理	曹		社会福祉	- タサイエンス・プログラム	- 197	ント・フロクラム		u- ,	•	•		無 七 许 夕 孙 汉		•	•		_
100	NAT.		いますが多能な共性の考え方を学ぶ		公共性の観点から課題を調査・分析し、報告する技法を学ぶ			社会現象を多角的に	捉え分析する			-144 75 4 4 4 1 1 1	の場の仕訳中のこむったがする		地域を行政学・地理学的に	近ろが 作り る	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	アンアを軸にクローバルな 相点で社会の現状と課題を	考える			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	在安調金・情報処理の 基礎と方法を学ぶ ――	(社会調査士・	上椒清椒炒埋工			いろいろな見方・	考え方を学ぶ		データサイエンバ		キャリアマネジメント・フロクラム						教職に必要な知識・方法を党ぶ	100 A D 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
1	照例		神神神		7			現代社会課題						地域社会ネットワーク	<u>#</u>			アジア国際共生 括						在铁調會 情報処理						関連科目									おいます。					





福岡県並大学人間社会学部 公共社会学科 〒825-8585 福岡県田川市大学伊田4395 Tel:0947-42-2118 Fax:0947-42-6171 公共社会学科ホームページ http://www.fukuoka-pu.ac.jp/academics/human/sociology/